

令和4年度
事業計画・資金収支予算書

社会福祉法人 善通寺福社会

I	令和4年度の運営方針	• • • • •	1
II	本部事務局事業計画	• • • • •	2
III	特別養護老人ホーム仙遊荘事業計画	• • • • •	3
IV	ショートステイ仙遊荘事業計画	• • • • •	5
V	仙遊荘デイサービスセンター事業計画	• • • • •	6
VI	グループホーム仙遊荘事業計画	• • • • •	8
VII	老人介護支援センター仙遊荘事業計画	• • • • •	10
VIII	生計困難者に対する相談支援事業	• • • • •	12
IX	養護老人ホーム五岳荘事業計画	• • • • •	13
X	特別養護老人ホームまほろば事業計画	• • • • •	14
XI	公益を目的とする事業の計画	• • • • •	16
XII	仙遊荘拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	17
XIII	五岳荘拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	19
XIV	まほろば拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	20

令和4年度の運営方針

1 善通寺福祉会を取り巻く環境

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は瞬間に全世界に広がり、2020年はその対応に追われることとなりました。

社会の仕組みも大きく変わり、翌2021年は、ワクチン接種の予防効果に望みを託しつつ、経済の立て直しが課題となっています。

2022年に入り、新たな変異株がかつてないスピードで広がりをみせるなど、パンデミックの収束が見込めない状況の中、私たちは依然として感染症の脅威にさらされています。

全国の介護施設においては再びクラスターや集団感染の報告が相次いでおり、私たちの事業所でも徹底した予防対策を行ってはいらぬものの施設内クラスターの発生や、濃厚接触等による休職者の増加で介護サービスの提供が困難となる場面は、いつ発生してもおかしくない状況です。

そのような状況で業務を続ける職員の精神的ストレスは相当大きなものとなっていることが考えられ、今後は職員のストレスマネジメントも丁寧に行っていく必要があると考えています。

また、利用者や家族、職員の安全を守るうえでこれまで以上のリスク管理が必要となり、変異株急拡大の中、これまで行ってきた感染症対策の経験を活かし、正しい知識を持ち精度の高い対策を法人一丸となり共有し実践して参りたいと思います。

感染症の拡大は社会保障制度に広く影響を及ぼしていますが、そのような中で生活困窮者や高齢者にとって重要な役割を担う養護老人ホームは現在大きな岐路に立たされています。

養護老人ホームは経済的な理由と環境上の理由により居宅での生活が困難な高齢者について「安全な住まい」を提供し社会復帰を支援する施設であり、地域社会のセーフティネットとして大切な社会資源です。

しかし、現在の養護老人ホームは重度化が進み、介護施設としての役割も担わなければならない現状に加え、措置制度の財源が特定財源から一般財源化されて以降、被措置者は全国的に毎年低減の傾向にあり、このことが施設運営の逼迫を引き起こしています。

措置費以外に収入の見込めない措置施設において、このことは深刻な問題であり、安定した運営に向けて様々な選択肢を模索しなくてはならない状況となっていますが、どのような状況下にあっても養護老人ホームは、あくまで措置施設であります。

「高齢者の社会復帰の促進と、自立した生活が営めるための指導援助」という措置施設の基本理念を実践しながら地域包括ケアを構成するために必要な社会資源の一拠点であることを、関係各所に対して根気よく丁寧に説明し、理解を得つつ、安定的な運営に努力してまいります。

最後に、職員の処遇改善についてであります。政府の掲げる新しい資本主義の1つの柱として提案される介護職の賃金改善が国費補助により令和4年2月から実施され、10月からは介護報酬の改定により恒久的改善に繋がるとされています。

公費で賄われる賃金改善を裏切るものとするため、ただ配分するだけでなく、人が集まり、定着し、そして入居者に求められる福祉人材へ成長するための処遇改善となるよう取り組んでまいります。

2 理念

- 「敬愛」 尊敬すると共に親しみの情をもって接すること
- 「誠実」 相手の立場、心情を考え自分の良心の命ずるままに行動すること
- 「奉仕」 福祉の心をもって、地域社会の為に尽くすこと

3 運営方針

- 災害時だけでなく、感染症による不測の事態にも柔軟に対応しながら事業を継続します。
- ノーリフティングケアを実践し入居者と職員に負担の少ない介護を目指すと共に、長期間に渡り自粛生活を強いられている職員のストレス軽減など、心と体のケアに努めます。
- 新たな処遇改善加算の新設に伴い、効率的な支給方法について検討し、介護職員以外の法人職員に対する更なる処遇改善を実施します。
- 自主的に抗原検査キットを確保し、随時検査を行いながら施設内へのウイルス進入を予防します。
- 適切な措置入所が行えるよう、保険者との連携を強化します。

Ⅱ 『本部事務局』 事業計画

1 事業の概要

本部事務局は、法人理念である「敬愛・誠実・奉仕」に沿った法人運営を行えるよう、入居者・利用者に質の高いサービス提供ができる専門性と向上の意欲に満ちた人材の育成に努め、常に改革の視点をもって、効率的運営を行い、信頼される法人を目指すものである。

2 運営方針

本部事務局は、法人理念を基に

- ・将来設計、自分の未来を楽しく想像できる職場
- ・法令遵守、法令を守り、社会の良識に従った公正かつ透明な事業活動を行う職場
- ・感謝の気持ち、ありがとうの声を大切にする職場

以上3点を本部事務局の理念とし、運営に関わる多様な制度、法令の範囲内で、職員の成長や処遇の改善を念頭に置いた法人規程の整備や運用を行っていく。

3 重点目標

- (1) 業務継続計画（BCP）の策定及び、施設設備の営繕
- (2) 職員の処遇改善に係る対応
- (3) 感染症予防対策

4 実施計画

- (1) 業務継続計画（BCP）の策定及び、施設設備の営繕

- ①介護サービスは、要介護者、家族等の生活を支える上で欠かせないものであり、災害時でも適切な対応を行い、その後も利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう体制を構築しているが、現計画に加え感染症などの対応を加える。
- ②職員への一斉メール配信システムを活用し、法人の意思決定をいち早く通知する。
- ③老朽化した設備更新について、感染症収束まで先延ばしできないものについては工事業者と事前に協議し、感染予防計画を策定した上で実施する。
- ④職員・利用者の状況を個別に把握し、実際の災害に備える。

- (2) 職員の処遇改善に係る対応

- ①新たな処遇改善加算の新設に伴い、効率的な支給方法について検討を行う。
- ②介護職員以外の法人職員に対する更なる処遇改善の実施
- ③賃金改善だけでなく、ワークライフバランスの向上を目的に職員個々に面談を実施し意見聴取を行う。
- ④求人活動において、処遇改善実施施設であることを積極的にアピールし職員確保に繋げる。

- (3) 感染症予防対策

- ①感染予防のため自粛生活や、出勤不能職員の交代勤務などによる強い緊張状態が続き、過大なストレスを抱える職員の精神的な負担軽減のために、これまで以上に管理職が介護職員と係り、一人で抱え込まない環境を作る。
- ②職員出勤時の体温測定、行動の記録、不要不急の県外への行動自粛等
職場内会議のオンライン化
委託契約内容を再検討し、館内立ち入りの機会をこれまで以上に減らす。
- ③自主的に抗原検査キットを確保し、随時検査を行いながら施設内へのウイルス進入を予防する。

Ⅲ 『特別養護老人ホーム仙遊荘』 事業計画

1 事業の概要

特別養護老人ホームは、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等によって、要介護状態となり援助を要する者について、個々人の能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように必要な支援を行う。

可能な限り、これまでの生活環境及び生活習慣を継続できるように施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の援助、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行うことを目的とする。
入居定員50名

2 運営方針

入居者の意思及び人格を尊重し、個別ケアの充実や安心・安全の介護への取り組みを実施する。明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、効率的な施設運営を行うとともにケアの質の向上を目指す。

善通寺福祉会の持つ専門性・公共性を生かし、地域の福祉活動の拠点とし、地域の人々が安心して住み続けられるよう地域貢献に努める。

3 重点目標

- (1) ストップ「だろう」思考
- (2) ノーリフティングの実施
- (3) 介護、看護の現場での業務を今まで以上に密に連携を取りお互いの業務をフォローする。
- (4) 安全で美味しく食事ができる環境づくり。

4 実施計画

- (1) ストップ「だろう」思考
 - ①事故報告書は原則、第一発見者が作成することとなっているが事故発生時、第一発見者が作成することが困難かつ他職員が現場にいた場合は介護、看護問わず合同で役割分担(文書作成、思案、家族への報告)を決めて連盟で作成する。それにより未報告や見落としゼロを目指す。
 - ②新型コロナウイルスの影響で、職員減となる場面も多く出てきているが、業務の質は落とさないよう昨年度出来なかったことを出来るに変わる為に一人一人が意識をもって行動する。
- (2) ノーリフティングの実施
 - ①昨年度実施したノーリフティング準備委員会のメンバーが中心となりノーリフトを全職員に周知し理解してもらい日々の業務に取り入れながら利用者の安心・安全・安楽にも務める。
 - ②短時間でも不良姿勢が続くと身体的負担がかかる為、作業を見直し職員誰もが安心して働ける環境づくりに取り組む。
- (3) 介護、看護の現場での業務を今まで以上に密に連携を取りお互いの業務をフォローする
 - ①限られた職員数の中で処置も含め介護、看護で相談しながら業務の流れの中で優先順位を考え、円滑に業務を行う。
 - ②介護、看護の協業(多職種協業)を実現するための、ミーティングを実施する。
 - ③日々の健康管理や感染予防に対して介護職も意見を出し合い統一した情報を基に全員が迅速に対応できるようにする。
- (4) 安全で美味しく食事ができる環境づくり。
 - ①多職種で観察を行うことで食事形態の変更、口腔内トラブルなどの早期発見、改善ができる。
 - ②食事介助の際、どうしても開口されず食事摂取量が減少してきている利用者は道具の選定を工夫し負担軽減を図りながら摂取していただく。

- ③栄養摂取困難(拒否や嚥下状態悪化)な利用者へ栄養補助飲料や食品を購入・提供し栄養状態を保持する。
 ④コロナウイルスにより家族は直接見ることが難しい為、近況報告はもちろんのこと、希望される方には食事メニューや風景を毎月写真撮影し、直近の体重も添えて送付・報告する。

<レクリエーション・クラブ活動>

クラブ名	内 容	開催数
書道クラブ	毛筆書写	月1回
お楽しみクラブ	映画鑑賞、カラオケ等	月1回

<年間行事計画>

	全体行事	フロア行事	行 事 食
内 容	9月 福祉会祭り	4月 お花見 5月 菖蒲湯 こいのぼり見学	4月 花見 7月 丑の日 9月 敬老の日
	行事・活動	6月 公園散歩、ドライブ 7月 七夕 9月 敬老会	12月 忘年会 クリスマス会 年越しそば
	お誕生日会(毎月) ショッピング おやつ作り(毎月) 昼食作り 外食 寺、神社まわり ドライブ 散歩 DVD鑑賞 カラオケ ※その他随時実施	10月 満濃公園コスモスフェスタ 獅子舞見学 11月 菊花展 隊友会カラオケ 12月 クリスマス会 忘年会 1月 新年会 鏡開き 2月 節分 バレンタインデー 3月 雛祭り	1月 おせち料理 七草粥 2月 節分 3月 雛祭り
		※その他随時実施	

IV 『ショートステイ仙遊荘』 事業計画

1 事業の概要

短期入所生活介護（ショートステイ）事業は、在宅高齢者が心身の状況や介護者の状況（病気、冠婚葬祭、介護疲れ等）により、一時的に在宅での生活が困難になった場合に、特別養護老人ホームに短期宿泊し、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の援助、健康管理及び療養上の援助を行うことを目的とする。利用定員20名。

2 運営方針

利用者の人権を尊重し、利用時に在宅の生活状況を詳細に聞き取り、自立支援のためのケアプランに基づく個別ケアの充実と事故防止に努める。また、食事・入浴・排泄等の介護のみでなく、生活の中での機能維持に対する取り組みや各種行事に参加することで、ADLの維持向上と生活の活性化ができるよう努める。

特別養護老人ホームとの一体的・効率的な運営の中で、利用率の向上を積極的に図る。

3 重点目標

- (1) 個別ケアの充実に努める。
- (2) 多様なニーズをもつ利用者に適切に対応する。
- (3) 効率的な運営を行う。
- (4) 新型コロナウイルス対策を含む感染症対策の徹底

4 実施計画

- (1) 個別ケアの充実に努める。
 - ①在宅生活の継続のため、詳細なアセスメントを行い、居宅ケアマネとの連携、居宅サービス計画書に基づいた援助を行う。
 - ②生活の中での残存機能の活用によるADL維持向上、他者との交流による生活の活性化など良質なサービス提供に努める。
 - ③退所時には家族に利用時の状態報告、注意点などを報告し、必要に応じて助言、相談などを行う。
- (2) 多様なニーズをもつ利用者に適切に対応する。
 - ①季節行事への参加等のサービスを提供するために、予約時にきめ細かに情報を提供し参加の促進を図る。
 - ②重度の認知症や医療的配慮の必要な在宅高齢者を柔軟に受入れ、安全な利用のために、ケアマネージャー、主治医、家族等と十分な情報交換を行い、対応方法を確認して適切な処遇と事故予防に努める。
 - ③独居や家族の疾病などの緊急性の高い高齢者を受入れ、多くの方が利用できるように運営する。
- (3) 効率的な運営を行う。
 - ①ケアマネージャーと緊密な連携を取りつつ、新型コロナウイルスに十分注意を払いながら効率的な運営に努める。
 - ②キャンセルや日程変更、短時間利用等に適切に対応できる柔軟な受入れの仕組みを整え利便性・効率性の向上に努める。
- (4) 新型コロナウイルス対策を含む感染症対策の徹底
 - ①併設の特別養護老人ホームと同様の対策を実施する。

V 『仙遊荘デイサービスセンター』 事業計画

1 事業の概要

利用者が施設に通い、入浴や食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練などを提供する。利用者の在宅生活の支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持、向上を目指すとともに、介護する家族の身体的精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

利用者の意思及び人格を尊重し、生きがいの増進等を図る支援を行い、適正な指定通所介護（予防）事業を実施する。

利用定員 25名（月～金） 15名（土）

2. 運営方針

『おもてなしの心』を理念とし、利用定員維持を目指す。笑い声があふれるサービス提供を心がけ、デイサービス利用を通じて自立に向けた支援を行うとともに、『また利用したい。』という満足していただける、リピートしていただける、周囲に話したくなるデイサービスを目指す。社会とのつながりを大切にし、身体を動かし、心身ともにいつまでも元気に地域の中で、また、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるように総合的なサービスを提供する。

3 重点目標

- (1) 季節の代わり風呂を毎月提供する。
- (2) 旬の野菜を使った食事の提供
- (3) 伝統的な行事や風習、イベントを現代風レクリエーションにアレンジし提供する。
- (4) 事故のない安全なサービス提供と感染対策を徹底する。
- (5) 利用者家族、介護支援専門員との連携を大切にする。
- (6) 職員の資質向上に努める。

4 実施計画

- (1) 季節の代わり風呂を毎月提供する。
 - ①弘法大師空海が医療として始めたとのいわれがある『季節湯』を取り入れる。
 - ②季節湯（代わり風呂）を『お楽しみ風呂』として準備し、季節を感じ、心身共に癒しの入浴サービスを提供する。
 - ③3種類（普通浴、チエアー浴、特浴）の浴槽を使用し、身体状況に合わせて安全に入浴できるように支援する。
 - ④入浴中は筋肉の緊張をほぐしたり、心身のリラクセスに繋がるように、ゆったりとした雰囲気でお介助する。
 - ⑤入浴後の楽しみとして様々な種類の飲み物を準備し、入浴サービスへの満足度を上げるとともに、適度な水分補給により脱水等の予防に努める。
- (2) 旬の野菜を使った食事提供をする。
 - ①暦や移り行く四季を感じられると共に、季節ごとの歳時を大切に、おもてなしの食事を準備する。
 - ②ゆったりとした雰囲気作りに努め、心のゆとりを感じていただける食事提供を行う。
 - ③嗜好調査を行い、『お楽しみ昼食』や『お楽しみおやつ』に反映させる。
- (3) 伝統的な行事や風習、イベントを現代風レクリエーションにアレンジし提供する。
 - ①日本伝統の風習や年中行事を共に楽しみ、癒しを提供する。
 - ②『今日は何の日』にちなんだレクリエーションを楽しむ。
 - ③利用者個々の楽しみや趣味を知り、従来のレクプログラムとYouTubeレクを取り入れ、常に新しいレクリエーションの取り組みを行い、脳の活性に繋げる。
 - ④常に新しいアプリをタブレットにダウンロードし、個別レクの充実を図る。

⑤利用者のお誕生日には、お一人おひとり特別な日としてお祝いをする。

(4) 事故のない安全なサービス提供と感染対策を徹底する。

- ①送迎前には、自宅周辺の道路状況など確認を行い、余裕を持った送迎を行う。
- ②介護サービス中のヒヤリハットや事故報告、対策は職員間で共有し、同じ事故を繰り返さない。
- ③職員は感染対策を徹底し、使用する物品、送迎車内も含め感染対策を徹底する。

(5) 利用者家族、介護支援専門員との連携を大切にす。

- ①常に居宅介護支援事業所の訪問や電話連絡等により、顔の見える関係作りを継続する。
- ②利用時の様子等、連絡帳を使って家族に報告をすると共に、送迎時には自宅での様子を確認しご家族の思いも聞き取るように努め、家族のレスパイト（身体的、精神的負担の軽減）に努める。
- ③毎月、筋力や体力の評価（モニタリング）を行い、介護支援専門員と連携を図り、生活機能維持に努める。

(6) 職員の資質向上に努める。

- ①積極的に施設内外問わず、研修に参加する。
- ②職員のコミュニケーション力を向上させ、利用者のこれまでの人生年表と社会の動向から利用者の歴史に触れ、新しい希望を見つけ実現しようとするパワーが持てるよう支援する。
- ③職員の資格取得や、福祉に関する分野以外にも様々な興味を持ち自己研鑽に努める。

ボランティア名	団体名	開催数
大正琴コンサート	アンサンブル向日葵	年1回～2回
クリスマスコンサート	善通寺看護学校ボランティア	年1回
健康教室	ヤクルト	年1回～2回
癒しのタッチ	癒しのタッチ	3か月に1回
紙芝居	安藤様	月1回
お茶会	尽誠学園ボランティア	年2回
オカリナコンサート	ウィズユー	年2回
民謡コンサート	桑山会	年1回
小学生訪問	善通寺校区吉原小学校1年生	年1回
DAMレク	三木様	月1回
マジックショー	観音寺マジッククラブ	年1回
元気はつらつ教室	体操	月2回
音楽レク	歌 楽器演奏	月3回
笑いヨガ		月1回

ボランティアによるレクリエーションについては、県の感染症警戒レベルに応じて、受け入れの是非を検討する。

※『季節湯』については、以下のお湯以外にも、季節の食材や植物を楽しむ。

【職員によるレクリエーションの内容】

《集団レクリエーションの取り組み》

- ・右脳を使うレクリエーションを中心にプログラムを作成する。
- ・プログラムは、脳トレ・カラオケ・運動・クイズやしりとり・ゲーム・折り紙・ものづくり・クイズ・四季の彩りを楽しむレクリエーションを組み合わせる。

《個別レクリエーションの取り組み》

- ・認知症予防及び進行予防に、脳トレドリルを行う。
- ・ゲーム機を使った遊びリテーションで、近隣のデイでは体験できない活気のあるデイサービスを目指す。
- ・一人ひとりの利用者の運動能力に関する目標や必要な支援について計画を立て（通所介護計画書）実践、支援する。

VI 『グループホーム仙遊荘』 事業計画

1 事業の概要

グループホームは、入居者に対し、可能な限り共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の支援および機能訓練を行うことにより、入居者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目指すものである。

利用定員9名。

2 運営方針

入居者一人ひとりの意思と人格を尊重し、個別ケアの充実とその人らしさを考えた介護への取り組みを実施し、『つむぐ』の理念のもと、明るく家庭的な雰囲気の中で、今年度は『結んだ関係が離れないように・・・入院退居ゼロ 4つの暮らしの実現』を目指す。

現在の入居者とともに、関係が途切れることなく、やすらぎと生きがいを持ち、地域とつながり続ける暮らしの実現を目指す。

職員は認知症の介護経験を有するとともに、定められた研修を受け、自らのサービス内容を評価し、常に介護サービスの質の向上に努める。

3 重点目標

- (1) 入居者9名との関係が途切れない暮らしの実現
- (2) やすらぎを感じる、心地よい暮らしの実現
- (3) やりがい、生きる喜びが持てる暮らしの実現
- (4) 地域とつながり続ける暮らしの実現

4 実施計画

(1) 入居者9名との関係が途切れない暮らしの実現

- ①健康維持に努めるため、日々の健康管理を主治医や歯科医、歯科衛生士、特養看護師と連携を図り、健康管理（バイタル測定・服薬管理・口腔ケア）と感染対策の徹底に努める。
- ②旬の野菜を取り入れ、身体によい食事を提供する。
- ③体力の維持向上を図るため、毎朝のラジオ体操に自転車こぎや散歩等、プラスワンの運動を取り入れる。
- ④脳トレや季節の行事、回想法に昭和や平成の映画鑑賞を取り入れ、認知症状悪化防止に努める。

(2) やすらぎを感じる、心地よい暮らしの実現

- ①リラクゼーションの取り組みとして、一人一人に応じた入浴時間と入浴方法を実施し、ゆったりと個浴を楽しんでいただくこと、安らぐ香り（アロマ）を取り入れ、ハンドマッサージやフットマッサージを行う。
- ②職員とだけでなく、入居者同士の語らいの時間を大切にしたり関わりを行う。
- ③入居者一人ひとりの体調に合わせて、リビングで過ごす時間もリラックスできるようにソファやリクライニングのできる椅子などを準備し、より自宅に近い環境作りに努める。
- ④大切な家族とのつながりの支援として、日常の様子を写真やLINEで毎月伝え、遠方に居る家族も、身近に感じながら暮らせる支援を行う。

(3) やりがい、生きる喜びが持てる暮らしの実現

- ①入居者一人ひとりの興味のあること、趣味に関わることに寄り添い職員も一緒に楽しむ。
- ②職員の提案する物作りから、新たな楽しみにつながるよう、趣味が増える支援する。
- ③入居者一人ひとりの役割（日常生活の中で洗濯に関わること、食事に関わること、掃除に関わること、環境整備に関わること）を一緒に行いながら、一人ひとりの大切にしてきたことや、こだわりを知り、職員も大切にしてきたことを共感して共に生活する。

(4) 地域とつながり続ける暮らしの実現

- ①運営推進会議を通じて、グループホーム運営の報告や地域の課題を知る機会に努める。
- ②行きつけのお店への買い物や、近所の理髪店、行きつけの美容院への外出支援を行い、馴染みの関係の継続に努める。
- ③お地蔵様の前掛け奉納や、中央公民館まつりの作品展示に参加する。地域に出かけることを通じて、グループホームでの暮らしを紹介する。公民館まつり参加を通じて、地域住民との関わりを持ち地域参加の意欲を高める。

<年間行事計画>

	定例行事・活動	フロアー行事	行事食
内 容	<<随時>> お誕生日会 映画鑑賞 ドライブ・散歩 ショッピング <<年6回>> 運営推進会議	4月 お花見 5月 家族交流会 6月 菖蒲湯 7月 七夕 8月 夏祭り 盆供養 9月 敬老会	4月 花見 5月 家族会 五月の節句 7月 丑の日 8月 八朔馬 お彼岸 9月 敬老の日 10月 お月見
	地域交流	12月 クリスマス会 1月 新年会 2月 節分 3月 雛祭り 彼岸供養	12月 忘年会 クリスマス会 年越しそば 1月 お節料理 七草粥
	<<年1回>> 御地蔵様の前掛け奉納 菊花展観覧 アニマルセラピー オンラインボランティア	※その他、季節行事を随時実施	2月 節分 3月 桃の節句

※ 新型コロナウイルス感染状況により、行事の変更あり。

Ⅶ 『老人介護支援センター仙遊荘』 事業計画

1 事業の概要

居宅介護支援事業は、ケアマネージャーが要介護認定者に適正な居宅サービス計画（ケアプラン）を作成することを通して、介護を必要とする高齢者が心身の能力を最大限生かし、可能な限り自立し、その人らしく生活できるよう支援する事業である。

2 運営方針

社会福祉サービスの諸制度や援助の在り方について、今後の動向をしっかりと見極めて支援を行うとともに、利用者の生活課題の多様化、複雑化に伴い、支援においては他職種連携やネットワークの重要性を再認識し、福祉にかかわる専門職として果たすべき役割を模索し、利用者の望む暮らしを実現するためのソーシャルワークの実践を目指す。

介護保険の基本理念である『高齢者の自己決定権の尊厳』『自分らしい生活の維持』及び『自立支援』の基本に立ち返り、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに沿ってサービスが提供されるよう関係事業者と調整しながら在宅生活が継続できるように支援を行う。

3 重点目標

- (1) 介護支援専門員として専門的なアセスメントに基づいて利用者のニーズに対応する。
- (2) 職員及び事業所の質の向上を目指す。

4 実施計画

- (1) 介護支援専門員として専門的なアセスメントに基づいて利用者のニーズに対応する。
 - ①利用者の暮らしを理解し、その人らしい自立した生活ができるよう利用者の『強み』を引き出すアセスメントを行う。
 - ②『社会資源』を適切に結びつけ、利用者がその人らしく、適切な状態で暮らせるように支援を行う。
 - ③利用者の権利を擁護しながら、個々に自立した暮らしができるように適切かつ、効果的に保険・医療・福祉サービスを利用できるように支援する。
 - ④介護者のストレスの質や量を把握し、ストレスを緩和するような支援を行う。
 - ⑤介護者のコミュニケーション能力を高められるように支援する。
 - ⑥利用者の『尊厳ある生活』ができる限り住み慣れた地域で継続できるように支援する。
 - ⑦入退院時には病院等との連携を図り、在宅復帰に向けた支援を行う。
- (2) 職員及び事業所の質の向上を目指す。
 - ①常に連絡・相談を受け入れる体制や心構えを持つ。
 - ②介護者個々の事情や家庭を配慮したマネジメントを行うためのモニタリング力を高める。
 - ③地域の社会資源を活用したマネジメントができるように、ネットワーク作りに取り組み、ケアマネ仲間を増やし情報量を増やせるよう努める。
 - ④『いかに高齢者の自立を守り、尊重するか』の視点を持ち続ける。
 - ⑤看護学校や病院関係者研修の受け入れを積極的に行い、介護保険制度やケアマネジメントプロセスについて伝える機会を持ち、自身のマネジメント力を振り返る機会にする。
 - ⑥各種研修会への参加により、より専門的な知識と技術を習得する。特に医療知識の向上に努める。
 - ⑦自己評価を利用者の更新時に行い、マネジメント業務の見直しを行う。
 - ⑧介護サービス情報の公表を年1回実施することでサービスの見直しを行うと共に、ホームページにて公表していく。

5 居宅サービス計画作成目標数

<月平均居宅サービス計画作成見込件数>

	令和4年度
老人介護支援センター仙遊荘	45件

VIII 生計困難者に対する相談支援事業

1 事業の概要

本事業は社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するために、地域の支援を必要とする人に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行い、相談活動を行う中で、支援を必要とする人の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度、サービスにつなぐこととする。

2 運営方針

香川県内の主要福祉団体によって設置された、香川おもいやりネットワーク事業に参加し、他の社会福祉施設や社会福祉協議会と連携し、地域のニーズに対応しながら社会福祉法人の責務としての「地域における公益的な取組」をめざす。

3 重点目標

- (1) 総合相談・支援事業
- (2) 地域のネットワーク体制づくり。
- (3) 相談・支援担当者等の研修参加

4 実施計画

(1) 総合相談・支援事業

- ①「生活のしづらさ」を抱え支援が必要な者への相談受付
- ②社会福祉施設の機能や強み等、社会資源を活かした支援の実施
- ③必要に応じて緊急的な支援である現物支給の実施

(2) 地域のネットワーク体制づくり。

コロナ渦の収束を見計らいながら、地域で開催される会議等への参加し情報を共有すると共に、互いの顔の見える関係を構築する。

(3) 相談・支援担当者等の研修参加

- ①相談・支援担当者の養成研修や、Web上でのスキルアップ研修への参加促進
- ②社会福祉施設が持つ知識や専門技術を積極的に地域へ伝え、福祉教育を推進する

IX 『養護老人ホーム五岳荘』事業計画

1 事業の概要

養護老人ホーム五岳荘は、環境上の理由及び経済的理由により、在宅において日常生活を営むのが困難な65歳以上行うことで、入所者がその有する能力に応じて自立した生活ができることを目指します。自立支援を目指す生活の場として地域支援のネットワークに加わり、その機能の維持向上に努める。

2 重点目標

- (1) 措置入所、契約入所の運営安定に向けた取り組み。
- (2) 理念の浸透と理念に沿ったケアの実践
- (3) 職員間、多職種との連携に努める。
- (4) 感染症に対応できる施設環境と業務体制を整える。
- (5) 地域、家族との関わりを持ち、情報の発信を行う。

3 実施計画

(1) 措置入所、契約入所、運営安定に向けた取り組み。

- ①適切な措置入所が行えるよう各保険者へ措置ニーズの情報提供を行いながら、措置制度への理解を求める。
- ②困難事案に対応できるよう、施設の環境整備を図る。
- ③職員研修、リモート研修に積極的参加し、職員の質の向上に努める。

(2) 理念の浸透と理念に沿ったケアの実践

- ①五岳荘の理念である「入居者が穏やかに過ごせる五岳荘を目指します。」を職員一人ひとりが理解し、実践できるため、話し合う場を定期的に設ける。
- ②理念に沿ったケアが提供するために、今のケア体制を検証する。
- ③何気ない会話の時間をもつことで、その人の生活歴を知り、個別ケアに努める
- ④その人らしい日常生活が営めるよう、入所者目線の支援に努める
- ⑤感染症状況（コロナ等）に応じて、近隣の散歩やスーパーでの買い物等に同伴し、気分転換を図る
- ⑥所者の意見、入所者の嗜好の把握に努め献立作成や行事食に生かす

(3) 職員間、多職種との連携に努める。

- ①問題、課題、サービス変更時には、その都度カンファレンスを開き統一したサービス提供、早期対応に努める。
- ②事故報告、ヒヤリハットの検証を行い事故防止・予防の意識を高め、入居者が安心して暮らせる生活環境の提供を行う。
- ③主治医との連絡を密にし、看護職員、支援員全員が服薬管理、バイタル測定を行うことにより入所者の健康管理に努める。

(4) 感染症に対応できる設備環境と業務体制を整える。

- ①職員自身が普段より日常生活に注意を払い、コロナ等の感染予防に努める。
- ②トイレ、廊下、共用部の消毒を徹底し、予防に努める。
- ③「ちょっと違う」を見逃さないよう、日常の様子観察に努める。
- ④感染疑い発生時、早期対応ができる環境づくり。

(5) 地域、家族との関わりを持ち、情報の発信を行う。

- ①サービス提供や体調面など家族と連絡を取りながら、家族の意見等も反映した支援を行う。
- ②地域の拠点として開かれた施設づくりに繋げる。
- ③入所者が自主的に参加できる環境づくり、ICTを積極的に取り入れレクリエーションの機会を増やす。
- ④LINEを活用し普段の様子の写真や日常の出来事等、家族に細目に報告を行う。
- ⑤ボランティアの方々に施設のイメージや様子等のアンケートを頂き、ご意見、感想を参考として入所者へのサービスの向上に繋げる。

X 『特別養護老人ホームまほろば』 事業計画

1 事業の概要

特別養護老人ホームまほろばは、居室やリビングなどの住環境と、利用者中心の暮らしを育むケア、そしてチームケアを推進する勤務体制この3つの要素を実践するために少人数ケア体制を構築し、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿ったケアを行い、入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したものとなるように支援すると共に自立的な日常生活を営むことを目的とする。

3ユニット 入居定員30名

2 運営方針

介護が必要となっても、自宅に住み、地域のなかで家族や親しい人たちと共に、不安のない生活を送りたいという希望を実現するために「家庭生活の延長線上にある暮らし」を理念とし、入居後もなるべく自宅に近い環境で生活する事の出来る施設であり、最後までその人らしい人生を送ることが出来るように支援をします。

3 重点目標

- (1) 「家庭生活の延長線上にある暮らし」の理念を理解する。
- (2) 一人ひとりの状態に合わせた介護ケアを行う。
- (3) なじみの関係を作る為のコミュニケーション作り。
- (4) 24時間シートの確立
- (5) 季節感が楽しめる食事の提供
- (6) スムーズな入退居の支援

4 実施計画

- (1) 「家庭生活の延長線上にある暮らし」の理念を理解する。
 - ①職員研修やリモート研修などに参加をし、職員の質の向上に常に努める。
 - ②利用者様とのかかわりの中でマンネリ化を防ぎ、運営当時の気持ちで初心を忘れずにケアを再確認する。
 - ③利用者様の状態など理解した上でその人に合った「家庭生活の延長線上にある暮らし」の理念を入れたプランを考える。
- (2) 一人ひとりの状態に合わせた介護ケアを行う。
 - ①事故報告書やヒヤリハットを検証し、重大な事故及び類似事故の未然防止に努める。
 - ②利用者様のちょっとした変化にも築けるように介護、看護の連携を密にする。
 - ③職員がしっかりとした感染対策を行うことで、施設内での持ち込みを未然に防ぐ。
 - ④職員の腰痛予防対策（ノーリフトケア）を取り入れることで、自分の身を守り入居者様に対しても安心安全に介助を行う。
 - ⑤ユニットミーティングやリーダー会議に加え、問題や課題があればその都度ミニカンファレンスなど開き、意見交換の場を設け解決策を見つける。
- (3) なじみの関係を作る為のコミュニケーション作り。
 - ①職員は同じユニットの専任の為、顔なじみになる事で安心感が生まれる。
 - ②コロナ対策として、ICTの活用しリモート面会やガラス越し面会を行い家族様と利用者様が安心して会話が出来る場を提供する。

リモート面会が出来ない家族様には写真などで元気な姿を見ていただき、家族様に細目に暮らしの様子などの報告を行う。
- (4) 24時間シートの確立
 - ①入居者が施設に入居しても「暮らしの継続」ができる様に生活のリズムを24時間シートで把握する。

- ② 24時間シートを活用し、安全で健康的な生活を24時間体制にて支援して行き記録との連動により、ケアの統一化と質の向上を目指す。
- ③ 家庭生活の延長線上にある暮らしをして頂くために、入居者の過ごしてきた時間を知りケアプランに繁栄する。

(5) 季節感が楽しめる食事

- ① 行事ごとには献立に旬な果物や野菜を取り入れ提供し、季節感を楽しむ。
- ② ご飯を炊き、盛り付けをし、みんなで食べ、洗い物をする。これまでの生活と同じ食事風景を展開し、五感を刺激させる。
- ③ おやつ、飲み物などその人に合ったものを提供する。
- ④ 入居者に嗜好調査を実施し、献立作成に繁栄させる。

(6) スムーズな入退居の支援

- ① 法人全体で入居希望者の情報を共有し、次の希望者がスムーズに入居できるようリードタイムを減少させる。
- ② 退居後は、徹底した居室清掃を行い、次の入居者及びその家族に、満足感を提供できるよう努める。

XI 公益を目的とする事業の計画

○ゆったり温泉仙の湯

ゆったり温泉仙の湯は、善通寺市老人無料入浴券等交付要綱に基づき公布された老人無料入浴券及びいきがい入浴券での利用に加え、一般市民の利用も含めた施設利用を通じて、高齢者が相互のコミュニケーションを深めることによって、健康の増進を図り、仲間づくりや生きがいつくりの促進につなげる。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年11月20日から運営を休止している。
令和4年度においても再開の予定は未定である。
再開時には、地域住民のコミュニティの場としての機能を果たせるよう努める。

XII 仙遊荘拠点区分 資金収支予算書
(自)令和 4 年 4 月 1 日 (至)令和 5 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
事業活動による収支	介護保険事業収入	391,220,000	373,470,000	17,750,000	
	施設介護料収入	171,100,000	167,040,000	4,060,000	
	介護報酬収入	153,000,000	150,000,000	3,000,000	
	利用者負担金収入(公費)	1,100,000	950,000	150,000	
	利用者負担金収入(一般)	17,000,000	16,090,000	910,000	
	居宅介護料収入	94,910,000	83,600,000	11,310,000	
	(介護報酬収入)	84,600,000	74,500,000	10,100,000	
	介護報酬収入	84,000,000	74,000,000	10,000,000	
	介護予防報酬収入	600,000	500,000	100,000	
	(利用者負担金収入)	10,310,000	9,100,000	1,210,000	
	介護負担金収入(一般)	10,100,000	8,900,000	1,200,000	
	介護予防負担金収入(一般)	210,000	200,000	10,000	
	地域密着型介護料収入	34,030,000	32,840,000	1,190,000	
	(介護報酬収入)	30,250,000	29,220,000	1,030,000	
	介護報酬収入	30,000,000	29,000,000	1,000,000	
	介護予防報酬収入	250,000	220,000	30,000	
	(利用者負担金収入)	3,780,000	3,620,000	160,000	
	介護負担金収入(一般)	3,600,000	3,450,000	150,000	
	介護予防負担金収入(一般)	180,000	170,000	10,000	
	居宅介護支援介護料収入	6,000,000	5,600,000	400,000	
	居宅介護支援介護料収入	6,000,000	5,600,000	400,000	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	2,220,000	2,460,000	△ 240,000	
	事業費収入	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	
	事業負担金収入(一般)	220,000	260,000	△ 40,000	
	利用者等利用料収入	82,850,000	81,740,000	1,110,000	
	施設サービス利用料収入	7,300,000	7,300,000	0	
	居宅介護サービス利用料収入	2,000,000	1,900,000	100,000	
	地域密着型介護サービス利用料収入	2,900,000	2,900,000	0	
	食費収入(公費)	340,000	340,000	0	
	食費収入(一般)	29,750,000	29,050,000	700,000	
	食費収入(特定)	11,000,000	10,900,000	100,000	
	居住費収入(一般)	19,100,000	19,000,000	100,000	
	居住費収入(特定)	8,360,000	8,350,000	10,000	
	その他の利用料収入	2,100,000	2,000,000	100,000	
その他の事業収入	110,000	190,000	△ 80,000		
補助金事業収入(公費)	100,000	180,000	△ 80,000		
受託事業収入(公費)	10,000	10,000	0		
香川おもいやりネットワーク事業収入	200,000		200,000		
事業収入	200,000		200,000		
経常経費寄附金収入	300,000	300,000	0		
受取利息配当金収入	10,000	10,000	0		
その他の収入	2,020,000	2,020,000	0		
受入研修費収入	220,000	220,000	0		
雑収入	1,800,000	1,800,000	0		
事業活動収入計(1)	393,750,000	375,800,000	17,950,000		

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	人件費支出	235,410,000	224,774,000	10,636,000		
	役員報酬支出	200,000	200,000	0		
	職員給料支出	138,200,000	132,310,000	5,890,000		
	職員賞与支出	35,300,000	31,990,000	3,310,000		
	非常勤職員給与支出	14,600,000	14,400,000	200,000		
	派遣職員費支出	13,600,000	12,820,000	780,000		
	退職給付支出	3,160,000	3,630,000	△ 470,000		
	法定福利費支出	30,350,000	29,424,000	926,000		
	事業費支出	64,110,000	63,280,000	830,000		
	給食費支出	22,600,000	22,350,000	250,000		
	介護用品費支出	3,200,000	3,200,000	0		
	医薬品費支出	505,000	505,000	0		
	保健衛生費支出	400,000	400,000	0		
	教養娯楽費支出	1,020,000	1,020,000	0		
	水道光熱費支出	19,070,000	19,070,000	0		
	燃料費支出	310,000	310,000	0		
	消耗器具備品費支出	8,040,000	8,040,000	0		
	保険料支出	2,950,000	2,470,000	480,000		
	賃借料支出	5,160,000	5,060,000	100,000		
	車輛費支出	855,000	855,000	0		
	事務費支出	42,460,000	40,780,000	1,680,000		
	福利厚生費支出	5,450,000	5,020,000	430,000		
	職員被服費支出	1,110,000	260,000	850,000		
	旅費交通費支出	20,000	20,000	0		
	研修研究費支出	325,000	325,000	0		
	事務消耗品費支出	310,000	110,000	200,000		
	修繕費支出	4,750,000	3,910,000	840,000		
	通信運搬費支出	960,000	960,000	0		
	会議費支出	20,000	20,000	0		
	広報費支出	100,000	100,000	0		
	業務委託費支出	26,670,000	27,510,000	△ 840,000		
	手数料支出	85,000	85,000	0		
	租税公課支出	210,000	210,000	0		
	保守料支出	1,160,000	1,160,000	0		
	渉外費支出	240,000	240,000	0		
	諸会費支出	550,000	350,000	200,000		
	雑支出	500,000	500,000	0		
	支払利息支出	345,000	505,000	△ 160,000		
	事業活動支出計(2)	342,325,000	329,339,000	12,986,000		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	51,425,000	46,461,000	4,964,000		
	施設整備等による収支	施設整備等補助金収入		1,000,000	△ 1,000,000	
		施設整備等補助金収入		1,000,000	△ 1,000,000	
		施設整備等収入計(4)		1,000,000	△ 1,000,000	
		設備資金借入金元金償還支出	20,580,000	20,580,000	0	
		固定資産取得支出	19,800,000	10,600,000	9,200,000	
		建物取得支出(基本財産)	3,600,000	2,972,000	628,000	
		器具及び備品取得支出	16,200,000	7,100,000	9,100,000	
		ソフトウェア取得支出		528,000	△ 528,000	
固定資産除却・廃棄支出		630,000	430,000	200,000		
建物除却・廃棄支出(基本財産)		120,000	120,000	0		
器具及び備品除却・廃棄支出		510,000	310,000	200,000		
施設整備等支出計(5)		41,010,000	31,610,000	9,400,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 41,010,000	△ 30,610,000	△ 10,400,000			
その他の活動による収支	拠点区分間繰入金収入		10,000,000	△ 10,000,000		
	その他の活動による収入	1,500,000	1,280,000	220,000		
	長期前払費用消去収入	1,500,000	1,280,000	220,000		
	その他の活動収入計(7)	1,500,000	11,280,000	△ 9,780,000		
	長期運営資金借入金元金償還支出	1,000,000	1,000,000	0		
	積立資産支出	470,000	10,420,000	△ 9,950,000		
	退職給付引当資産支出	470,000	420,000	50,000		
	修繕積立資産支出		10,000,000	△ 10,000,000		
	その他の活動による支出	7,000,000	100,000	6,900,000		
	長期前払費用支出	7,000,000	100,000	6,900,000		
その他の活動支出計(8)	8,470,000	11,520,000	△ 3,050,000			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 6,970,000	△ 240,000	△ 6,730,000			
予備費支出(10)	3,445,000	3,300,000	145,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	12,311,000	△ 12,311,000			
前期末支払資金残高(12)	252,303,010	239,992,010	12,311,000			
当期末支払資金残高(11)+(12)	252,303,010	252,303,010	0			

XIII 五岳荘拠点区分 資金収支予算書
(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考		
収入	老人福祉事業収入	90,200,000	80,050,000	10,150,000			
	措置事業収入	86,200,000	78,800,000	7,400,000			
	事務費収入	66,000,000	59,100,000	6,900,000			
	事業費収入	20,000,000	19,500,000	500,000			
	その他の事業収入	200,000	200,000	0			
	運営事業収入		50,000	△ 50,000			
	補助金事業収入(公費)		50,000	△ 50,000			
	その他の事業収入	4,000,000	1,200,000	2,800,000			
	管理費収入	2,000,000	600,000	1,400,000			
	その他の利用料収入	2,000,000	600,000	1,400,000			
	経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0			
	受取利息配当金収入	10,000		10,000			
	その他の収入	50,000	50,000	0			
	雑収入	50,000	50,000	0			
	事業活動収入計(1)	90,310,000	80,150,000	10,160,000			
	事業活動による収支	支出	人件費支出	42,200,000	42,520,000	△ 320,000	
			職員給料支出	25,000,000	25,320,000	△ 320,000	
職員賞与支出			5,000,000	5,200,000	△ 200,000		
非常勤職員給与支出			3,000,000	2,611,000	389,000		
派遣職員費支出			3,000,000	3,189,000	△ 189,000		
退職給付支出			500,000	500,000	0		
法定福利費支出			5,700,000	5,700,000	0		
事業費支出			24,580,000	25,180,000	△ 600,000		
給食費支出			9,000,000	9,000,000	0		
介護用品費支出			10,000	10,000	0		
医薬品費支出			100,000	100,000	0		
保健衛生費支出			350,000	350,000	0		
教養娯楽費支出			350,000	350,000	0		
本人支給金支出			3,900,000	3,900,000	0		
水道光熱費支出			6,800,000	6,800,000	0		
燃料費支出			20,000	20,000	0		
消耗器具備品費支出			2,000,000	2,800,000	△ 800,000		
保険料支出		900,000	700,000	200,000			
賃借料支出		750,000	750,000	0			
車両費支出		300,000	300,000	0			
雑支出		100,000	100,000	0			
事務費支出		14,350,000	13,970,000	380,000			
福利厚生費支出		1,000,000	1,000,000	0			
職員被服費支出		200,000	100,000	100,000			
旅費交通費支出		10,000	7,200	2,800			
研修研究費支出		200,000	36,400	163,600			
事務消耗品費支出		100,000	50,000	50,000			
修繕費支出		1,000,000	700,000	300,000			
通信運搬費支出		200,000	250,000	△ 50,000			
広報費支出		50,000	46,600	3,400			
業務委託費支出		11,060,000	11,257,200	△ 197,200			
手数料支出		30,000	28,100	1,900			
租税公課支出		80,000	80,000	0			
保守料支出		170,000	170,000	0			
渉外費支出		100,000	97,200	2,800			
諸会費支出		100,000	100,000	0			
雑支出		50,000	47,300	2,700			
事業活動支出計(2)		81,130,000	81,670,000	△ 540,000			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		9,180,000	△ 1,520,000	10,700,000			
施設整備等による収支		収入					
			施設整備等収入計(4)				
	支出	固定資産取得支出	5,500,000	1,500,000	4,000,000		
		建物取得支出(基本財産)	5,000,000	381,000	4,619,000		
		器具及び備品取得支出	500,000	1,119,000	△ 619,000		
施設整備等支出計(5)	5,500,000	1,500,000	4,000,000				
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 5,500,000	△ 1,500,000	△ 4,000,000				
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入		520,000	△ 520,000		
		退職給付引当資産取崩収入		520,000	△ 520,000		
		その他の活動による収入	500,000	400,000	100,000		
		長期前払費用消去収入	500,000	400,000	100,000		
		その他の活動収入計(7)	500,000	920,000	△ 420,000		
	支出	積立資産支出	310,000	310,000	0		
		退職給付引当資産支出	310,000	310,000	0		
		拠点区分間繰入金支出		10,000,000	△ 10,000,000		
		その他の活動による支出	2,200,000	100,000	2,100,000		
		長期前払費用支出	2,200,000	100,000	2,100,000		
その他の活動支出計(8)	2,510,000	10,410,000	△ 7,900,000				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 2,010,000	△ 9,490,000	7,480,000				
予備費支出(10)	1,670,000	2,000,000	△ 330,000				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 14,510,000	14,510,000				
前期末支払資金残高(12)	21,925,665	36,435,665	△ 14,510,000				
当期末支払資金残高(11)+(12)	21,925,665	21,925,665	0				

XIV まほろば拠点区分 資金収支予算書
(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考	
収入	介護保険事業収入	166,650,000	164,550,000	2,100,000		
	施設介護料収入	121,800,000	119,700,000	2,100,000		
	介護報酬収入	109,000,000	107,300,000	1,700,000		
	利用者負担金収入(一般)	12,800,000	12,400,000	400,000		
	利用者等利用料収入	44,800,000	44,800,000	0		
	施設サービス利用料収入	4,400,000	4,400,000	0		
	食費収入(一般)	11,900,000	11,900,000	0		
	食費収入(特定)	3,600,000	3,600,000	0		
	居住費収入(一般)	20,800,000	20,800,000	0		
	居住費収入(特定)	4,100,000	4,100,000	0		
	その他の事業収入	50,000	50,000	0		
	補助金事業収入(公費)	50,000	50,000	0		
	経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0		
	受取利息配当金収入	10,000	10,000	0		
	その他の収入	300,000	300,000	0		
	雑収入	300,000	300,000	0		
	事業活動収入計(1)	167,060,000	164,960,000	2,100,000		
	支出	人件費支出	101,680,000	98,470,000	3,210,000	
		職員給料支出	56,000,000	54,000,000	2,000,000	
職員賞与支出		11,500,000	11,300,000	200,000		
非常勤職員給与支出		8,500,000	8,500,000	0		
派遣職員費支出		12,500,000	12,500,000	0		
退職給付支出		1,180,000	1,170,000	10,000		
法定福利費支出		12,000,000	11,000,000	1,000,000		
事業費支出		27,150,000	26,766,000	384,000		
給食費支出		9,400,000	9,400,000	0		
介護用品費支出		2,500,000	2,325,000	175,000		
医薬品費支出		100,000	100,000	0		
保健衛生費支出		260,000	260,000	0		
教養娯楽費支出		190,000	190,000	0		
水道光熱費支出		6,400,000	6,400,000	0		
消耗器具備品費支出		5,400,000	5,391,000	9,000		
保険料支出		1,200,000	1,000,000	200,000		
賃借料支出		1,620,000	1,620,000	0		
車輛費支出		80,000	80,000	0		
事務費支出		6,500,000	6,330,600	169,400		
福利厚生費支出		2,000,000	1,950,000	50,000		
職員被服費支出		40,000	32,100	7,900		
研修研究費支出		100,000	111,900	△ 11,900		
事務消耗品費支出		60,000	60,000	0		
修繕費支出		1,000,000	610,100	389,900		
通信運搬費支出		200,000	200,000	0		
広報費支出		50,000	50,000	0		
業務委託費支出		2,450,000	2,734,900	△ 284,900		
租税公課支出		60,000	60,000	0		
保守料支出		300,000	290,000	10,000		
渉外費支出		130,000	125,600	4,400		
諸会費支出		110,000	106,000	4,000		
支払利息支出		5,900,000	6,150,000	△ 250,000		
事業活動支出計(2)		141,230,000	137,716,600	3,513,400		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		25,830,000	27,243,400	△ 1,413,400		
施設整備等による収入	設備資金借入金元金償還支出	17,760,000	17,760,000	0		
	固定資産取得支出	1,000,000	1,210,000	△ 210,000		
	器具及び備品取得支出	1,000,000	1,210,000	△ 210,000		
	固定資産除却・廃棄支出	10,000	10,000	0		
	器具及び備品除却・廃棄支出	10,000	10,000	0		
	施設整備等支出計(5)	18,770,000	18,970,000	△ 200,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 18,770,000	△ 18,970,000	200,000			
その他の活動による収入	その他の活動による収入	600,000	500,000	100,000		
	長期前払費用消去収入	600,000	500,000	100,000		
	その他の活動収入計(7)	600,000	500,000	100,000		
	その他の活動による支出	2,400,000	225,000	2,175,000		
その他の活動による支出	長期前払費用支出	2,400,000	225,000	2,175,000		
	その他の活動支出計(8)	2,400,000	225,000	2,175,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,800,000	275,000	△ 2,075,000			
予備費支出(10)	2,000,000	1,875,000	125,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,260,000	6,673,400	△ 3,413,400			
前期末支払資金残高(12)	99,205,548	92,532,148	6,673,400			
当期末支払資金残高(11)+(12)	102,465,548	99,205,548	3,260,000			